

2 予算のあらまし

(1) 国の予算を巡る動きと予算編成

国の令和3年度予算は、感染症との闘いの最前線に立ち続ける医療や介護の現場の方々の献身的な貢献を支えるための新型コロナウイルス感染症の拡大防止策や、成長力強化のためのデジタル改革・グリーン社会の実現、生産性向上と継続的な賃金底上げによる好循環の実現、安全・安心に向けた子どもを産み育てられる環境づくり、東日本大震災をはじめ各地の災害からの復興や防災対応の強化、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、重要な政策課題への対応に必要な予算措置が講じられました。

この結果、一般会計予算の規模は、106兆6,097億円（前年度比3兆9,517億円、3.8%増）となっています。

また、令和3年度の地方財政への対応においては、新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅な減収となる中、地方が地域社会のデジタル化や防災・減災、国土強靱化、地方創生の推進、地域社会の維持・再生等に取り組みつつ、交付団体をはじめ地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和2年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策が講じられました。

この結果、地方財政計画（通常収支分）の規模は、89兆8,060億円（前年度比9,337億円、1.0%減）、一般財源総額（水準超経費を除く交付団体ベース）は61兆9,932億円（前年度比2,414億円、0.4%増）となっています。

本県では、これまでの行財政改革の取組により、県債残高や経常収支適正度の目標を達成するなど成果が着実に現れてきていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、県税収入等の歳入面への影響が懸念される中で、感染症の収束と経済の再生・活性化の両立に向けた取組を加速する必要があることに加えて、社会保障関係経費が引き続き増加することや、公債費が高い水準で推移することが見込まれるなど、厳しい財政運営の継続が予想されます。

こうした財政状況を踏まえて編成した本県の令和3年度当初予算は、三重の新たな未来を切り拓くための過去最大の予算です。「令和3年度三重県経営方針」を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」の大成功に向けた取組、防災・減災、国土強靱化の推進、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進など、優先度の高い課題にしっかりと取り組みます。

また、行財政運営では、機動的かつ弾力的な運営が確立できるよう、「第三次三重県行財政改革取組」に基づき、経常的な支出の抑制を図るとともに、多様な財源確保の取組を継続します。